

令和4年8月29日

南関中学校保護者 様

南関町立南関中学校
校長 永杉 尚久

令和4年度全国学力・学習状況調査結果と学力向上の対策について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の全国学力・学習状況調査の結果が公開されましたので、本校の結果概要と対策についてお知らせ致します。

この調査は3年生を対象に実施されましたが、結果は本校全体に適應するものにとらえ、全職員で調査結果を分析し、課題を見つけ、対策を考えております。

なお、この調査結果が学力のすべてを表すものではありません。ご不明な点やお尋ね等ございましたら、学校へご連絡ください。

1 実施教科及び内容等

国語、数学、理科、質問紙調査

※質問紙調査とは、生徒の学習や生活の様子を調査するものです。

2 教科の結果（概要）

(1) 正答率

3教科すべてで、熊本県・全国の値を上回りました。過去5回の推移を見ても、3教科ともに上昇傾向にあります。

(2) 課題

国語：「示された情報を活用して答えを導く力」、「自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く力」で課題が見られました。

数学：正答率における生徒分布で、高い生徒とそうでない生徒の二極化が見られました（通常は平均値に生徒が集中する山型を示しますが、本校はM型を示しました）。また、「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力」に課題が見られました。

理科：「正確に理解する力」、「実験結果が考察の根拠として十分かを検討する力」「必要な実験を指摘し、実験計画の改善を図る力」に課題が見られました。

3 質問紙調査の結果（概要）

	全国と比較して高い傾向にあるもの	全国と比較して低い傾向にあるもの
生活面	<ul style="list-style-type: none">・地域の行事に進んで参加した。・地域や社会をよくするために何をすべきか考える。・人の役に立つ人間になりたい。・携帯、スマホ、パソコンなどの使い方について家庭での約束を守っている。・学校生活をより良くするために学級活動で話し合い、解決方法を決めている。	<ul style="list-style-type: none">・毎日同じくらいに寝る。・自分には良いところがある。・将来の夢や目標をもっている。・難しいことでも失敗を怒れないで挑戦する。・自分で決めたことはやり遂げる。・困りごとや不安があるときに、先生や学校の大人にいつでも相談できる。

	全国と比較して高い傾向にあるもの	全国と比較して低い傾向にあるもの
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通じて、自分の考えを広げたりしている。 ・総合的な学習の時間では、自分で計画を立てて調べ、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ・道徳の時間では、考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいる。 ・教科で学習したことは、将来役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生では、各教科で学んだことを生かしながらまとめる活動をしていた。 ・授業で自分の考えを発表するときに、上手く伝わるように資料や文章の組み立てを工夫している。 ・自分で計画を立てて勉強している。 ・読書が好き ・平日の読書の時間 ・教科の学習がよく分かる。

4 今後の取組

(1) 学校で取り組むこと

- 「身につけさせたい資質・能力」を再確認し、繰り返し意識付けを図ります。
- 夢につながる成功体験を家庭や地域と連携して味わわせ、適切に賞賛します。
- 1分間スピーチで自分を語ったり SDGs 新聞を通して考えを交流活用したりするなど、表現力の育成を図ります。また、相互評価等の機会を増やしたり肯定的な評価を行ったりすることで、相互理解や自己肯定感を高めます。
- キャリアパスポートを活用し、生徒が自分の成長を確認する機会を設けます。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「協働的な学び」に焦点を当て授業改善に取り組めます。また、毎時間の授業で「振り返り」の充実を図ります。
- 各教科が抱えている課題については、教科部会で方策を検討し、授業や自主学習の場で実践することで解決を図ります。
- 読書習慣の形成に向け、学級活動や教科指導の中に読書の時間を位置づけ、図書担当や図書館司書と連携しながら、読書環境の充実を図ります。

(2) 家庭で取り組んでいただきたいこと

- 生徒の生活リズムが安定するよう、基本的な生活習慣の確立に向けたご指導をお願いします。
- 家庭でのスマホ、携帯の使用ルールを確立してください。
- 家族との触れ合い（「学校の様子を話題にする」「夢や進路に関する相談にのる」「子どもの挑戦を賞賛したり励ましたりする」など）を通して、生徒が家族とふれ合う時間を作ってくださいようお願いします。